



IBM WebSphere Application Server ファミリー

お客様のビジネス・ニーズを満たす適切なアプリケーション基盤を提供

主な特長

- お客様のビジネス・ニーズに応じた適切なアプリケーション・サーバーを使用して、強力な基盤を構築してコストを削減します。
- 革新的なアプリケーションとサービスを効率的に構築、導入、および管理する機能を使用して俊敏性を高めます。
- 運用の効率化を通じてコストを削減しながら、お客様に信頼性を提供します。
- セキュリティーとコントロールを実現する統合型管理によって複雑さと不確実さを排除します。

IBM は、世界中で高機能化、相互接続、およびインテリジェント化がかつてないほど進んでいる今こそ、Smarter Planet を構築すべき時であると考えています。Smarter Planet によってもたらされる新たなチャンスを生かすには、組織は俊敏性を確保する一方で、コストを最適化する必要があります。俊敏性とコストの最適化を達成するための方法の1つは、現在使用しているビジネス・アプリケーションとそれらをサポートするインフラストラクチャーを綿密に検証することです。企業で必要とされているアプリケーション基盤とは、効率化を促進し、セキュリティーが高く、今日の変化の激しいビジネス情勢に対応できる柔軟性を備えたものです。IBM® WebSphere® Application Server ファミリーは、革新的で高性能なビジネス・アプリケーションを提供することで、企業 IT の運用と開発におけるビジネスの俊敏性とコストの最適化を実現します。

WebSphere Application Server ファミリーは幅広い基盤の選択肢を提供し、あらゆるタイプのアプリケーションを構築、導入、および管理できるようにすることで、お使いのアプリケーションがビジネスの要求にいつでも対応できるよう支援します。IBM は、ビジネスに不可欠なアプリケーションや全社規模の重要なアプリケーションから、小規模な部門レベルのアプリケーションに至るまで、適切な規模の基盤を提供することで、同種環境や特に混在環境において、セキュリティー、スケーラビリティ、管理容易性などの主要な要件と、コストやシンプルさとの間のバランスを保てるようにします。

WebSphere Application Server V8 は旧バージョンをベースにして拡張されたものであり、その拡張内容としては、完全な Java™ EE 6 サポートおよび認定、プログラミング・モデルと標準のサポート強化、パフォーマンス/管理機能/セキュリティー機能の向上、問題判別の迅速化、ディレクトリー・ベースの Java EE アプリケーションの導入、および製品の導入と保守の簡易化が挙げられます。旧バージョンの業界トップクラスのパフォーマンスをベースにして構築された

WebSphere Application Server V8 は、パフォーマンスをさらに向上させるとともに、ワークロード統合を通じてデータ・センターの効率を高めることでコストを削減しています。セキュリティーの拡張により、お客様のデータを保護する能力が強化されます。



革新的なアプリケーションとサービスの 効率的な構築、導入、および管理

WebSphere Application Server V8 を使用すると、時間、場所、およびデバイス・タイプの制約を受けることなくビジネス・アプリケーションにアクセスするための新しい自然な方法をお客様に提供できます。Web 2.0 およびモバイル、OSGi アプリケーション、Java バッチ、XML、サービス・コンポーネント・アーキテクチャー (SCA)、

Communications Enabled Applications (CEA)、 Session Initiation Protocol (SIP)、および動的スクリプト・プログラミング・モデルがサポートされており、開発者が最新の標準とプログラミング・モデルを簡単に活用できるように実装例も提供されています。アプリケーションを最新化するとともに、自社開発のアプリケーション、パッケージ・アプリケーション、およびレガシー・アプリケーションを再利用して Web 上にまで拡張することで、コストを削減できます。オンライン・チャット機能、クリック・トゥ・コール (Click-to-Call) 機能、および革新的な共有ブラウジング (Co-browsing) 機能を使用して Web 上で優れたユーザー・エクスペリエンスをお客様やパートナーに簡単に提供することで、競争力を維持できます。また、モバイル・デバイスやワイヤレス・デバイスを使用してリアルタイムにビジネスにアクセスすることが可能になります。このことは、アプリケーションのユーザーにとってのカスタマー・サポート・エクスペリエンスを高めるのに役立ちます。

運用上の効率性と信頼性の向上

パフォーマンスが向上した WebSphere Application Server V8 を使用すると、応答が速く可用性の高いアプリケーションを提供できるため、お客様の信頼と運用効率を高めることができます。標準で備えているスケーラビリティとワークロード分散機能により、アプリケーションの応答時間が遅いことに起因するコストを削減できます。高パフォーマンスを活かして現在より少ないサーバーに統合することで、最大 30% までコストを削減することができます。また、業界トップクラスのサービス品質により、トランザクションの整合性、全体的な信頼性、およびスケーラビリティを維持しながら、ダウンタイムを短縮できます。

統合型の管理およびツールを通じた セキュリティとコントロールの強化

WebSphere Application Server V8 では、統合型の管理とツールを使用して、複雑さを解消してコストを削減し、管理者と開発者の効率性を高めてセキュリティを強化できます。集中型の管理機能を使用して複数の場所を表示および監視することで、コストを削減して IT 運用を効率化できます。既存の Java アプリケーションの再コーディングを不要にする後方互換性と統合型ツールによって、開発者の生産性も向上します。さらに、柔軟できめ細かいセキュリティ管理によって、お客様のデータの保護を強化できます。

WebSphere Application Server フィーチャー・パック

フィーチャー・パック

Web 2.0 and Mobile – Web 2.0/Ajax および視覚化テクノロジーを通じて、デスクトップ用とモバイル用の Web アプリケーションに関する動的かつインタラクティブなユーザー・エクスペリエンスを提供して利用範囲を拡大することを支援します。 [V7] [V8]

Communications Enabled Applications – Java と JavaScript のスキルを活用して Click-to-Call や共有ブラウジングなどの通信機能を既存または新規のアプリケーションに組み込むことで、デスクトップ用とモバイル用のインタラクティブな Web アプリケーションの提供を支援します。 [V7]

Dynamic Scripting – WebSphere sMash をベースにして、PHP や Groovy などの動的スクリプト言語を活用してシチュエーション・アプリケーションまたは部門を対象にしたアプリケーションの素早い提供を支援します。 [V7] [V8]

OSGi Applications and Java Persistence API 2.0 – 標準ベースのモジュール性、ダイナミズム、およびバージョン管理に加えてデータ永続性を通じて、開発と運用の効率を高めるシンプルなアプリケーション・フレームワークを使用可能にします。 [V7]

Service Component Architecture – サービス指向アーキテクチャー (SOA) に基づいてアプリケーションを構築するためのシンプルかつ強力なプログラミング・モデルを提供することで、複合的なアプリケーションの開発と管理を改善し、複数のアプリケーションにまたがる再利用の効率化を支援します。 [V7]

XML – 最新の XML 標準を提供する一方で、開発を簡略化し、XML ベースのデータを使用するアプリケーションの信頼性とパフォーマンスを高めます。 [V7]

Modern Batch – Java Batch プログラミング・モデルをサポートし、バッチ・ワークロード実行のためのツールと運用管理手段を提供して、バッチ・アプリケーションの開発と導入を可能にして、バッチと OLTP のワークロードの実行を可能にします。 [V7]

略称の意味:

V7 = WebSphere Application Server V7.0 フィーチャー・パック

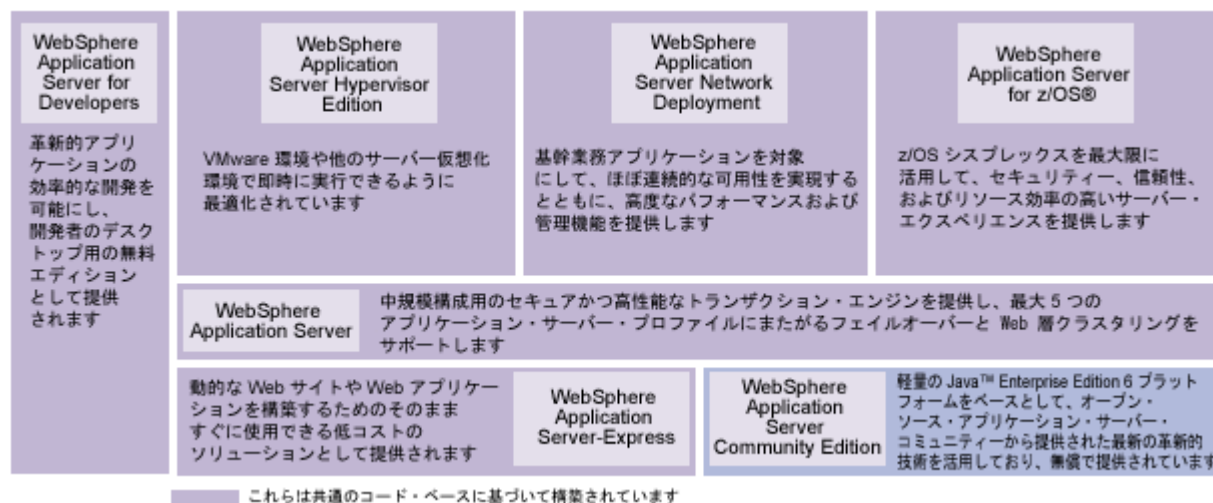
V8 = WebSphere Application Server V8.0 フィーチャー・パック

WebSphere Application Server フィーチャー・パック

WebSphere Application Server フィーチャー・パックを通じた価値の拡大

WebSphere Application Server の堅固な基盤上に構築されたフィーチャー・パックを使用することで、最新のテクノロジーを活用して、革新的で高性能なアプリケーションを効率的に開発するとともに、コストと時間がかかるアプリケーション・サーバーのアップグレードを回避することができます。フィーチャー・パックを使用すると、ビジネスの遂行を妨げることなく既存バージョンの WebSphere Application Server に新しい機能を追加できます。

フィーチャー・パックは、最新の標準やプログラミング・モデルの利用などの新たな利点をお使いのアプリケーションに提供しますが、サブスクリプション & サポート契約をお持ちの既存の WebSphere Application Server ユーザーに対する追加料金は一切発生しません。新規および更新されたフィーチャー・パックの最新情報とダウンロードについては、ibm.com/software/jp/websphere/appttransaction/was/featurepacks/ をご覧ください。



WebSphere アプリケーション・ファミリー・ポートフォリオ

WebSphere Application Server の構成

WebSphere Application Server V8 は、業界で最も幅広いアプリケーション基盤をサポートすることで、お客様のビジネスに適したアプリケーション基盤上でアプリケーションを構築して稼働させることができます。

IBM WebSphere Application Server ファミリーは幅広い基盤の選択肢を提供することで、あらゆるタイプのアプリケーションを構築、導入、および管理できるようにします。IBM は、ビジネスに不可欠なアプリケーションや全社規模の重要なアプリケーションから、小規模な部門レベルのアプリケーションに至るまで、適切な規模の基盤を提供することで、同種環境や混在環境において、セキュリティ、スケーラビリティ、管理容易性などの主要な要件と、コストやシンプルさとの間のバランスを保てるようにします。

表 1 に、それぞれの WebSphere Application Server 構成の主要な特長と機能を示します。その説明を参照して、現在のビジネス戦略に最も適した構成を選択してください。また、ニーズの進展に応じてソリューションを拡張することができます。最新の情報については、ibm.com/software/jp/websphere/was をご覧ください。

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
最適なユーザー	Java に精通した開発者や企業のうち、オープン・ソース・テクノロジーに素早くアクセスして、トランザクション量が少ないうえにあまり複雑ではないプロジェクトの導入を迅速化する必要のある企業	動的 Web アプリケーションの小規模な導入のために簡単かつ低コストのそのまますぐ使えるソリューションを必要としている中堅企業	単一のサーバー上または中規模の導入環境で動的 Web アプリケーションを構築、実行、および管理するためのスケラブルな基盤を必要としている中堅企業または大企業	基幹業務アプリケーションのほぼ連続的な可用性、自動化されたパフォーマンス最適化、および高度な管理を必要とする企業	VMware 環境や他のサーバー仮想化環境で即時に実行できるように最適化された基幹業務アプリケーションのほぼ連続的な可用性、自動化されたパフォーマンス最適化、および高度な管理を必要とする企業	基幹業務アプリケーションの連続的な可用性と最適化されたパフォーマンスを実現するための z/OS と同等品質のサービスを必要とする企業
Java EE 6 準拠	●	●	●	●		●
Java EE 5 準拠	●	●	●	●	●	●
Java プラットフォーム Standard Edition 6 (Java SE 6.0)	●	●	●	●	●	●
幅広いプログラミング・モデルの選択肢	●	●	●	●	●	●
シンプルなフェイルオーバー	●	●	●	●	●	●
高度なクラスタリング	●			●	●	●
大規模トランザクションのサポート				●	●	●
動的キャッシング				●	●	●
高度なセキュリティー		●	●	●	●	●

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
ランタイム・プロビジョニング	●	●	●	●	●	●
管理負担を軽減するための管理エージェント		●	●	●	●	●
拡張性の高いリモート管理を可能にするジョブ・マネージャ				●	●	●
単一サーバー内のワークロード管理:z/OS ワークロード・マネージャと統合						●
レポートと課金: リソース使用状況に関するきめ細かいレポート						●
WebSphere Application Server フィーチャー・パック	●	●	●	●	●	●
VMware 環境や他の仮想化環境で即時に実行できるように最適化					●	
幅広いオペレーティング・システム・サポートとデータベース接続	●	●	●	●	●	●
ソケット・ベースの価格設定オプション	●		●			
アプリケーションのアセンブリーと導入のツール	●	●	●	●	●	●
オープン・ソース・ベース	●	●	●	●	●	●
実動用のデータベース	●					
24 時間 365 日の製品サポート	有償で提供	●	●	●	●	●

記号の意味: ● = 完全サポート、● = 部分サポート、空白 = サポート対象外

表 1: IBM WebSphere Application Server の各構成の主な特長と機能

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
プログラミング・モデルのサポート						
Java EE 6	●	●	●	●		●
Java EE 5	●	●	●	●	●	●
Java プラットフォーム Standard Edition 6 (Java SE 6.0)	●	●	●	●	●	●
Web 2.0 and Mobile	●	●	●	●	●	●
OSGi アプリケーション	●	●	●	●	●	●
Java バッチ		●	●	●	●	●
XML		●	●	●	●	●
サービス・コンポーネント・アーキテクチャー (SCA)		●	●	●	●	●
Communications Enabled Applications (CEA)		●	●	●	●	●
Session Initiation Protocol (SIP)		●	●	●	●	●
動的スクリプト		●	●	●	●	

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
統合ツールのサポート						
Rational Application Developer Standard Edition for WebSphere Software (試用版を含む)	●	●	●	●	●	●
Rational Software Architect for WebSphere と統合された Rational Application Developer (個別に入手)	●	●	●	●	●	●
IBM Assembly and Deploy Tool for WebSphere Administration (Eclipse をベースに構築)		●	●	●		●
IBM Rational® Application Developer assembly and deploy module for WebSphere (Eclipse をベースに構築)	●				●	

記号の意味: ● = 完全サポート、● = 部分サポート、空白 = サポート対象外

表 2: IBM WebSphere Application Server の各構成でのプログラミング・モデルと統合ツールのサポート

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
管理およびパフォーマンス						
柔軟な管理				●	●	●
ランタイム・プロビジョニング・サービス	●	●	●	●	●	●
High Performance Extensible Logging (HPEL)		●	●	●		●
拡張パフォーマンス機能 (ネットワーク・エッジ・サービスを含む)				●	●	●
「アプリケーション」の概念を Java EE を超えて拡張する WebSphere ビジネス・レベル・アプリケーション		●	●	●	●	●
簡易化されたインストールと保守		●	●	●		●
集中型のインストールと保守				●	●	●
管理対象ディレクトリーベースの Java EE アプリケーションのインストール、アップデート、およびアンインストール		●	●	●		●

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
高度なセキュリティー						
WebSphere セキュア・プロキシ				●	●	●
WebSphere セキュリティー・ドメイン		●	●	●	●	●
セキュリティー監査		●	●	●	●	●
Kerberos 認証およびシングル・サインオン		●	●	●	●	●
Security Assertion Markup Language (SAML) トークンのサポート		●	●	●	●	●
アプリケーション・インターフェースへの影響を伴わない z/OS セキュリティー環境の使用						●

記号の意味: ● = 完全サポート、◐ = 部分サポート、空白 = サポート対象外

表 3: IBM WebSphere Application Server の各構成での管理、パフォーマンス、およびセキュリティーのサポート

	WebSphere Application Server Community Edition V3.0	WebSphere Application Server - Express V8.0	WebSphere Application Server V8.0	WebSphere Application Server Network Deployment V8.0	WebSphere Application Server Hypervisor Edition V7.0	WebSphere Application Server for z/OS® V8.0
移行のサポート						
移行の文書	●	●	●	●	●	●
移行のツールと支援	●	●	●	●	●	●
Java EE 互換性に基づいた任意の WebSphere Application Server 構成へのアップグレード	●	●	●	●	●	●
Java プラットフォーム Standard Edition 6 (Java SE 6.0)	●	●	●	●	●	●
プラットフォームのサポート						
Microsoft Windows®, Linux®, IBM AIX®, および Oracle Solaris™	●	●	●	●		
HP-UNIX®		●	●	●		
IBM i		●	●	●		
Linux on IBM System z®	●		●	●	●	
64 ビット・アドレス指定	●		●	●		●
プロセッサ・バリュー・ユニット (PVU) の制限を伴わないサーバー上および仮想パーティション上の使用	●		●	●	●	●
z/OS および z/OS システム レックス						●

記号の意味: ● = 完全サポート、● = 部分サポート、空白 = サポート対象外

表 4: アプリケーションの開発と管理に関する特長

詳細情報

IBM WebSphere Application Server ファミリーについて詳しくは、ダウンロード・ファイルや詳細情報にアクセスしていただくか、IBM 営業担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、ibm.com/software/jp/websphere/was/ をご覧ください。

さらに、IBM グローバル・ファイナンスが提供するファイナンス・ソリューションは、効果的なキャッシュ管理、テクノロジー陳腐化の防止、総所有コストの削減、および投資収益率の向上を実現できます。また、IBM のグローバル・アセット・リカバリー・サービスは、従来よりもエネルギー効率の高い新しいソリューションによって環境問題に対処することを支援します。IBM グローバル・ファイナンスについて詳しくは、ibm.com/financing をご覧ください。



© Copyright IBM Corporation 2011

IBM Software Group
Route 100
Somers, NY 10589
U.S.A.

Produced in the United States of America
March 2011
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、AIX、Rational、System z、z/OS、および WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、米国や他の国における Linus Torvalds 氏の登録商標です。

Microsoft および Windows は、米国や他の国における Microsoft Corporation の商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

本書に記載の製品、プログラム、またはサービスが日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。

* IBM i® Web Enablement パッケージ (5722-WE2) の一部として入手可能

¹ z/OS は唯一のサポートされているオペレーティング・システムです。



Please Recycle